

いよいよ認知症対策が一步前進します！

ごあいさつ

この冬は東京も2度にわたる歴史的な大雪に見舞われました。被害にあわれた方には謹んでお見舞い申し上げます。改めて、雪も自然災害であることを認識させられる一方、あちこちで、雪かきを通して新たな地域コミュニティが生まれるという、うれしい話もお聞きすることができました。さて、3月25日には、32日間にわたる平成26年度第1回定例会が閉会しました。

私が認知症対策で求めてきた「認知症スクリーニングシステム導入」が夏前には実現する運びとなりました。これからも更なる認知症対策に取り組んでまいります。いよいよ本格的な春、みなさまのお声が花開くように全力で頑張っております。



ホームページ/変わりました！

<http://www.sunsun-kumiko.com>

Kumichan 通信



予算委員会質疑

(一部を抜粋)

■がん検診について

5年間続いた女性特有のがん無料クーポン事業の対象者が平成26年度より『子宮頸がん20歳、乳がん40歳のみ』に変更される。この5年間の未受診者に対して働きかけをする「コール・リコール制度」の活用で一人でも多くの方が受診できるよう要望。

■防災について

今般、女性の視点が活かされた防災備蓄品や資機材が拡充された。今後、備蓄食糧や衛生用品など消費期限のある物品に関して、廃棄を含めた年次計画を立てることを提案。

また、学校で子どもたちに備蓄食糧を食べる機会を設けるよう再度指摘した。

大量備蓄を抱えないためにも、市内業者との災害協定の拡大を訴えた。

■集団回収について

ごみ減量のひとつの手法。行政コスト削減にもなり、回収する団体も収益が得られるなど、双方に良い手法であることから、更なる市民への周知、実施団体拡大を求めた。

■認知症対策について

「認知症スクリーニングシステム」導入が明確に。初夏には市のHP上で稼働することにあわせ、市民への周知、その活用方法について提案。

安全対策をしました！（内藤1丁目）

実績

平成25年夏、内藤橋近隣の方からご相談を受けました。内藤橋付近の歩道上で児童と自転車の出会い頭の接触などがあり危ないので、安全対策をお願いしたいとのこと。すぐ道路管理課と相談し、何が効果的かと検討を重ねた結果、地権者のかたにも、ご協力いただき、平成26年2月、危険箇所あたりのフェンスに注意喚起のプレートを設置しました。なによりもお互いの安全確認が第一ですね。



内藤1丁目 整備前



内藤1丁目 整備後

報告

再び、石巻市、女川へ！

3月23日に仙台市で開催された“公明党公開フォーラム”に参加。前日に、まだまだ寒い石巻市と女川に行ってきました。石巻市は一昨年秋以来、2度目の訪問です。日和山公園から眺めた風景は、津波被害にあった市立石巻病院も撤去され、何も無い荒地がひろがっていました。女川は初めてでしたが、横倒しになったままのビルの絶句。被災地は3年たっても、まだまだ「あたりまえの生活」を取り戻せません。

今後も「風化」と「風評」の二つの風と厳然と立ち向かい、「忘れない」ことに全力を尽くしていきます。

そして忘れないために、今夏、「ど根性ひまわり4世」を国分寺中に咲かせましょう！ご協力をよろしくお願いします。

